

文教大学教職支援連携センター開設記念講演会

# いじめと不登校 について考える

参加費  
無料

— 事例を中心に —

2023年2月26日(日)  
13:30~16:00

- 受講対象** 現職教員、教育行政職等  
学校教育に関わっている方
- 会場** 文教大学 越谷キャンパス14号館
- 定員** 100名程度(申込順)
- 申込開始** 1月24日(火)~
- 申込方法** 裏面をご確認ください。

2022年4月に「文教大学教職支援連携センター」が開設されました。周知のとおり、本学はこれまで10年以上にわたり、全国でトップレベルの教員採用実績があり、多くの卒業生が学校現場で活躍しています。

本センターの開設を機会に、卒業生とのつながり(連携)をさらに密にするとともに、全国他大学の先進的なセンターの事例も参考にしながら、教員養成の質保証の観点から、さまざまな企画や事業を行ってまいりたいと考えております。

今回は、現代的な教育課題をテーマに、元京都教育大学教職キャリア高度化センターの先生方をお招きし、お話をうかがいます。皆さまのご出席をお待ちしております。

## いま、改めていじめを問う

— 最近のいじめ問題から見えてくるもの —

桶谷 守先生

池坊短期大学学長、元大津市教育長、元京都教育大学教職キャリア高度化センター教授

文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」では、小・中・高・特別支援学校におけるいじめの認知件数615,351件と過去最高、いわゆる重大事態の発生件数705件と増加の傾向にある。いじめを認知した学校数は29,210校、全学校数に占める割合は79.9%と、いまだに20%の学校が、いじめを認知していないというのは、何を表しているのか? また、重大事態の報告書から見てくることは何か? 現場の先生方との意見交換から考えていきたい。

## 魅力ある学校づくりをベースとした 不登校児童への対応

橋本 京子先生

京都文教大学 こども教育学部 教授、元京都教育大学教職キャリア高度化センター教授

不登校児童生徒数は244,940人と過去最高になった。少子化が進行する中、課題はますます大きくなっている。不登校の要因は様々であるが、不登校が生じないような魅力のある学校づくりを進めていくことが何よりも重要である。子どもにとって、学校での営みには、楽しいと思うこともつらいと思うこともあるだろう。が、つらさを上回る楽しさを実感できる学校づくりを展開しつつ、不登校になった子どもへの支援を家庭も含め学校としてどう対応していくか考えていきたい。

## 文教大学教職支援連携センター

問合せ先

文教大学 地域連携課 越谷オフィス

TEL 048-974-8811 [代表]

FAX 048-974-8878

住所 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337

メール contact\_kyoshoku\_src@stf.bunkyo.ac.jp

後援: 越谷市教育委員会

### 交通のご案内

東武スカイツリーライン・東京メトロ日比谷線 直通  
北越谷駅下車 徒歩 約10分

駐車できるスペースがありませんので、お車・バイク以外の交通手段をご利用ください。



# 文教大学教職支援連携センター開設記念講演会 いじめと不登校について考える一事例を中心に

## PROGRAM

13:30～	開会挨拶
13:40～14:30	【講演】 「いま、改めていじめを問う」 —最近のいじめ問題から見えてくるもの— 池坊短期大学学長 桶谷 守先生
14:35～15:25	【講演】 「魅力ある学校づくりをベースとした 不登校児童への対応」 京都文教大学教授 橋本 京子先生
15:40～	質疑応答
16:00	閉会挨拶

## PROFILE

### 桶谷 守 | おけたに まもる

池坊短期大学学長、元大津市教育長、  
元京都教育大学教職キャリア高度化センター教授



京都市教育相談総合センター所長を経て、京都教育大学教職キャリア高度化センター教授。文部科学省「暴力行為のない学校づくり研究会」調査研究協力委員。日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理分野専門職大学院認証評価チーム委員」を歴任。2013年、「大津市いじめ問題第三者調査委員会委員」として活動し、その後、教育委員長、教育長として大津市のいじめ問題に取り組む。京都教育大学名誉教授。

### 橋本 京子 | はしもと きょうこ

京都文教大学 こども教育学部 教授、  
元京都教育大学教職キャリア高度化センター教授



京都府内で、小・中学校教員、教育センター研究主事兼指導主事を歴任し、京都教育大学教職大学院教授、教職キャリア高度化センター次長を経て、京都文教大学勤務。確かな国語力を身に付ける国語教育の在り方や指導方法、授業づくり、読書教育などを担当し、教員を目指す学生の育成に当たる。文部科学大臣賞・博報賞受賞。

### コーディネーター

### 小林 稔 | 文教大学教職支援連携センター次長、文教大学教育学部教授

## 申込方法 下記のいずれかの方法でお申込みください。

- ◆【WEB】 URL <https://forms.gle/UG9GyJvWHeawGNGC8>  
右のQRコードからアクセスできます。
- ◆【FAX】 下部「受講申込FAX用紙」に記入して送付
- ◆申込受付期間 ※定員に達し次第、締め切ります。  
WEB:2023年1月24日(火)～2月20日(月)  
FAX:[受信期間]2023年1月26日(木) 9:30～2月15日(水)
- ◆はがき・電話・窓口でのお申込みはできませんので、ご了承ください。

※Google Formsが  
開きます。



## 【文教大学教職支援連携センター開設記念講演会 受講申込FAX用紙】

フリガナ		年齢	
氏名		歳	
住所	〒	—	
電話番号		—	
Email		@	※受付時、定員を超えた場合は、メールでご連絡します。
勤務先		役職・担当等	
文教大学卒業生は ご記入ください	学部	専修 (旧姓 学科 )	

FAX送付先:048-974-8878

お申込みにあたりご登録させていただく情報は、本講演の運営と今後の講演情報のご案内のみに使用します。